

令和8年度 シラバス

教科	公民	科目	公共	必修・選択	単位数	2
教科書・副教材等	高等学校 改訂版 新公共（第一学習社）					
学習の到達目標	1 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論を理解し、諸資料から自ら活動するため必要となる情報を調べ、まとめる技能を身に付ける。 2 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付ける。 3 よりよい社会の実現のため、現代の諸課題を主体的に解消しようとする態度を示すとともに、現代社会に生きる人間としての在り方や生き方についての自覚や、公民として平和で民主的な社会の形成に努める自覚を深める。					
評価の観点	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度			
	現代の諸課題や概念・理論をその背景や解決への取組とともに理解できている。 現代の諸課題を適切な資料や情報源をもとに調べ、まとめることができる。	現代の諸課題とその解決策について根拠となる資料や情報、他者との対話に基づいて自分の意見を持ち、表現することができる。 現代社会と自分とのかかわり方を考え、表現することができる。	現代の諸課題について、調べたり、考えたりする態度を示している。 現代の諸課題を解決するため、主体的に社会参画を行う姿勢を示している。			
評価の方法	考查、授業の参加状況（話し合い活動の内容を含む）、レポートで評価します。					
	単元		主な学習内容			
前期	1 公共的な空間をつくる私たち 2 公共的な空間における人間としての在り方生き方 3 公共的な空間における基本原理 4 法的な主体となる私たち		・青年期における私たちと社会とのかかわりを学び、自分と他者・社会を理解することの大切さを考える。 ・人間が社会とかかわるために考えるべきことを学ぶ。 ・個人の尊重や法の支配、自由・権利と責任・義務、日本国憲法について学び、社会で共に生きるために私たち一人一人ができることを考える。 ・法や規範の意義と役割、契約と消費者の権利・責任、司法参加の意義を学び、法と私たちの関わりや法の在り方、自分の生き方を考える。			
後期	1 政治的な主体となる私たち 2 経済的な主体となる私たち 3 持続可能な社会づくり主体となる私たち		・政治参加と公正な世論の形成、国際社会と国家主権、日本の安全保障と防衛、国際社会の変化と日本の役割を学び、政治と私たちの関わりや政治の在り方、自分の生き方を考える。 ・雇用と労働問題、社会の変化と職業観、市場経済の機能と限界、金融のはたらき、財政の役割と社会保障、経済のグローバル化を学び、経済と私たちとの関わりや経済社会の在り方、自分の生き方を考える。 ・具体的な現代社会の課題を例に、探究活動を行い、根拠に基づいた自分の意見を表現する。			